

4. 人を育て、地域を育てる

地域住民への教育をととして、倫理観の高い人と共に生きる地域を育てる。



4. 人と地域を育てる

【基本的な考え方】

地域には様々な課題がありますが、その多くは支援者をプロフェッショナル化することで対応してきました。しかし、これからの社会構造の変化を念頭に置くと、この仕組みを長く続けることが難しくなると予測されます。

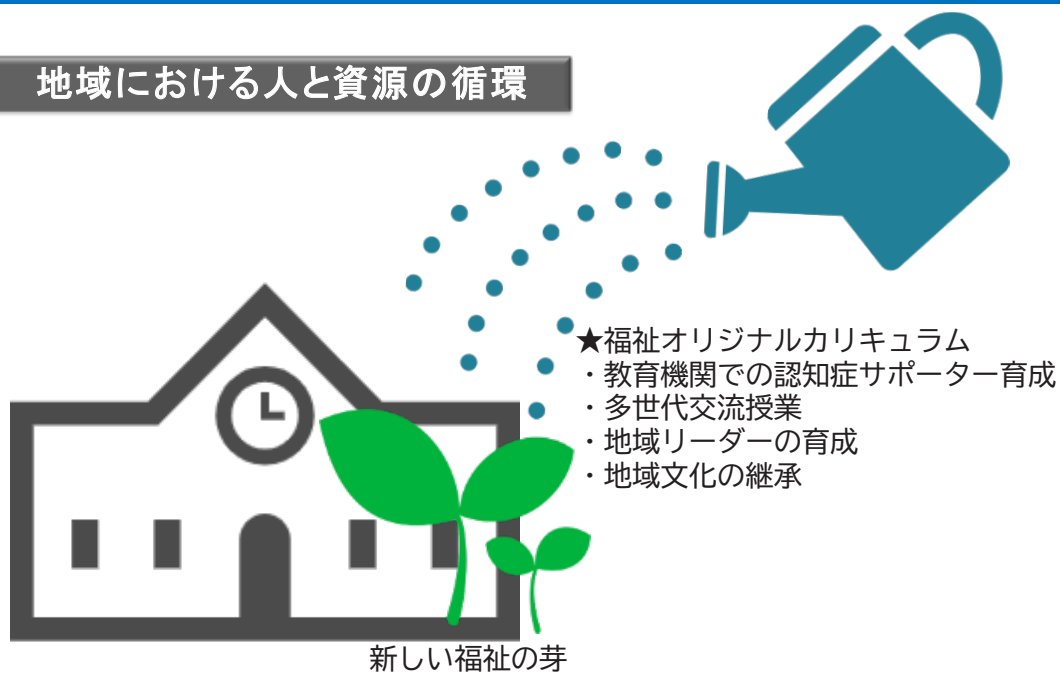
地域には高齢者、障害者、子供も含めさまざまな生活者がおり、まだまだ活用されていない地域資源があります。それらを総動員して、2040年の課題に対応することが必要です。そのために、地域に眠っている人財の発掘と活用されていない社会資源の有効活用を進める必要があります。2040年に向けて、人を育て、地域を育てるためには、未来を担う子供たちとどう生きるかを一緒に考え、行動する機会を創出することが必要です。

そこで、神奈川県独自の福祉教育として、道徳や人生哲学、人間関係など、人間力を高めるカリキュラムを構築し、関係機関と連携しながら、倫理観の高い地域文化を創造することを目指します。

4. 人を育て、地域を育てる

学校教育と社会教育をととして、倫理観の高い人を育て地域を育てる。

地域における人と資源の循環



施策 1 神奈川県独自の福祉教育（道徳、人生哲学等）の推進



学校教育と社会教育をとおして、倫理観の高い人を育てることが地域を育てることに繋がります。そのために、次に掲げる施策を推進します。

<子どもの福祉教育>

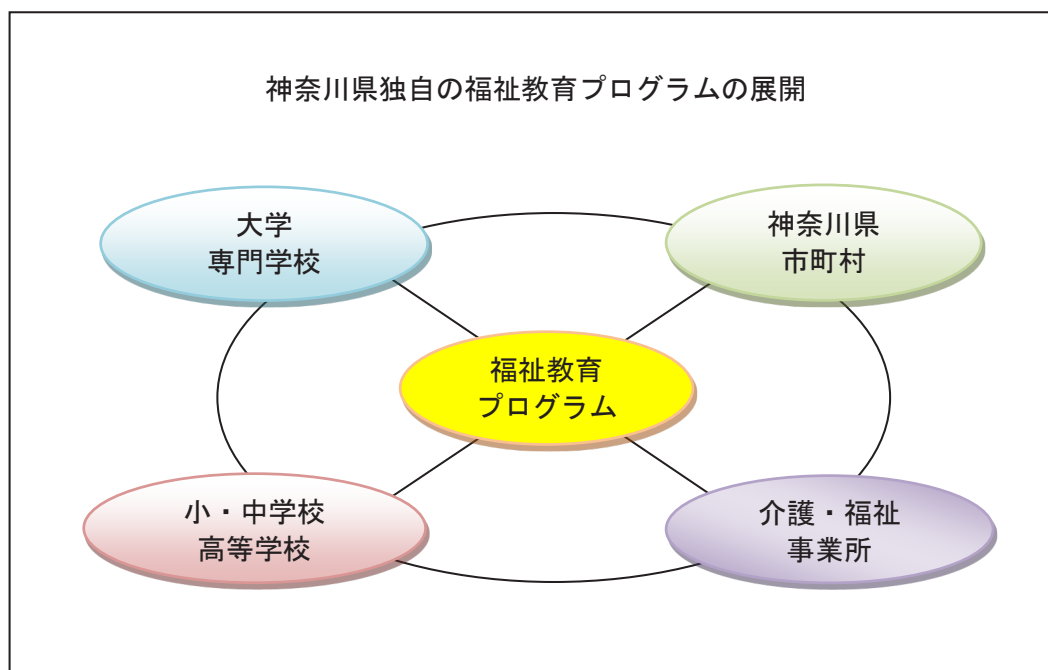
全ての小中高等学校において福祉倫理教育を必須科目にして、ともに生きる社会実現のための実践教育が求められています。また、全ての小中学校において認知症サポーター養成講座を開設することや、県立高校を中心として、介護事業所等においてボランティア体験を必須科目とするなど、神奈川県らしい福祉教育を展開することが望まれています。そこで、介護・福祉事業者と教育委員会とが連携して、人間力を磨く研修を推進します。

<介護事業所の全職員に対する人権教育>

神奈川県内に所在するすべての介護事業所及び福祉事業所の職員を対象として人権教育を実施する施策を推進します。

<県民向け福祉教育>

県立保健福祉大学をはじめ県内に所在する大学と連携して、県民向けの福祉教育特別講座（仮称）を開講し、所定のカリキュラムを修了した人を、民生委員・児童委員候補者とするなど、市町村の地域福祉に貢献する人財を養成する施策を推進します。



施策2 地域づくりリーダーの養成



4. 人と地域を育てる



5. プラットフォームビルダー

人生100歳時代を健康的な生活を送るためには、地域づくりと健康づくりに関する施策を統合化し、市町村において継続的に地域づくりや健康づくりに関わることのできる人財の養成が必要です。

また、地域の課題を発見し、課題解決に向けた取り組みを進めるためには、市町村の職員だけでなく、地域の中で積極的に行動できるソーシャルワーカーが必要になります。

そこで、地域づくりに関するリーダーとして活躍できるソーシャルワーカーを養成するとともに、専門家として独立して仕事ができる環境を整備するための施策を推進します。